

## WaaS 共創コンソーシアムが地域課題解決に貢献します

### ～地域の Well-being 向上を目指した「地域共創エコシステム」の構築～

- JR 東日本グループは、「勇翔 2034」で掲げるライフスタイル・トランスフォーメーション（LX）の実現に向け、WaaS 共創コンソーシアム\*（以下、「WCC」）を通じて、国内外企業、大学・研究機関、自治体とのオープンイノベーションでの地域課題解決により、新たな価値を生み出していきます。
- 2026 年度からは、地域の持続的発展のための課題となっている関係人口の創出につながる「地域共創」を中心テーマに置き、JR 東日本 36 事業本部社員が地域の皆さまとともに、地域全体で支える実例モデルを創出していきます。
- そのような各地域での取組みにより得られた知見を踏まえ、地域課題解決が各地域で自律的に進むエコシステムの構築を目指します。

\* : WaaS 共創コンソーシアムホームページ <https://www.jreast.co.jp/jrewcc/>

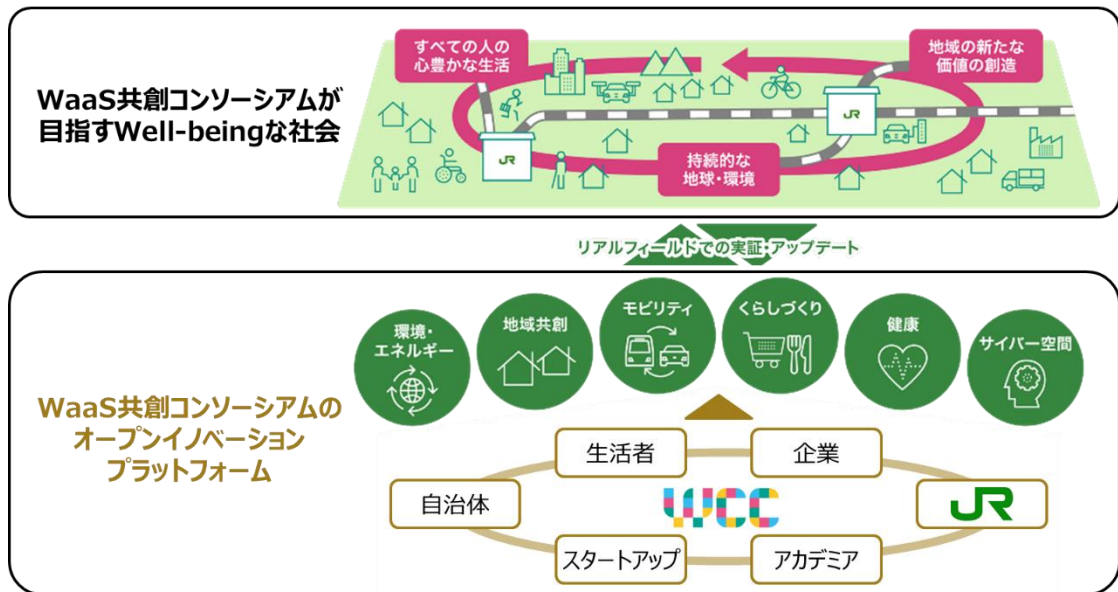
### 1. WCC の目指す価値創造と活動

JR 東日本グループは、LX で社会課題や潜在ニーズに向き合い、生活様式のイノベーションを通じて思いやりとワクワクにあふれる社会の実現を目指しています。2023 年 4 月に設立した WCC では、LX の世界観に沿った取組みとして、一企業単独での解決が難しい課題に対し、オープンイノベーションプラットフォームを活用したイノベーション創出と、Well-being な社会の実現に向けた活動を推進しています。

#### （1）活動の現状

WCC は、オープンイノベーションプラットフォームとして、合計 108 団体（2026 年 9 月 28 日現在）が参画しています。当コンソーシアムの設立以降、延べ 32 件の実証実験を行いました。複数のソリューション・テクノロジーを掛け合わせ、ステークホルダーのニーズを先取りしデザインすることで新たな価値を創出するとともに、近年は特に地域を価値創造の最先端と位置づけ、風土・文化・暮らしを尊重し、地域や生活者とともにリアルフィールドでの共創を重ね、持続的な地域価値の創出と課題解決に向けて取り組んでいます。

## WCCが目指す世界観



### (2) 取組み例（野沢温泉村でのライドシェア）

長野県野沢温泉村では、冬季に訪日観光客を中心とした需要が集中し、輸送力不足による混雑の深刻化や、公共インフラ逼迫による村民の移動や生活利便性の低下が課題となっていました。2024年度から2シーズンにわたり、公共ライドシェアの実証実験を実施しました。2025年度は3か月間で約2,300件のご利用があり、飯山駅から野沢温泉エリアにおける冬季の輸送手段として、地域課題解決に貢献しました。現在は地域主体で運営に向けた準備を進めています。

○共創メンバー：一般社団法人野沢温泉マウンテンリゾート観光局、株式会社 AMANE、JR 東日本

| 2025年度ライドシェア実証概要 |                                         |
|------------------|-----------------------------------------|
| 期間               | 2025年12月1日～2026年2月28日                   |
| 営業時間             | 8時～22時<br>※1月末までは18時まで                  |
| 区間               | 野沢温泉-飯山駅を中心とする近隣エリア<br>※乗降地が野沢温泉村内の場合のみ |
| ドライバー            | 一般・派遣 合計40名登録                           |
| 車両               | 自家用車、レンタカー                              |
| 料金               | タクシーと同等                                 |



## 2. 2026年度からの展開

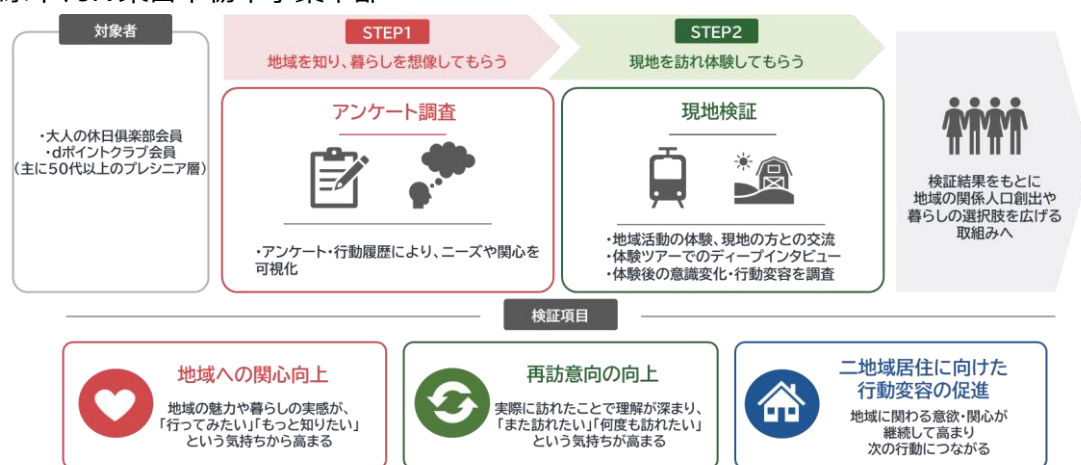
2026年度から、WCCは関係人口の創出や地域の持続的な発展につながる「地域共創」を重点テーマとして取り組んでいきます。実証実験を通じて得られた成果や知見、人材、共創手法を活用し、ビジネス創造施設「Link Scholars' Hub（以下、「LiSH）」や2026年7月に新たに発足した36事業本部を通じ、地域課題への取組みを推進します。地域の活力向上に向け、実証・検証のフェーズから、地域や社会へ具体的な価値を届けるフェーズへの移行を目指しています。

(1) 36 事業本部と連携した地域共創（今年度推進する実証実験の例）

① 大人の休日倶楽部会員等を対象にした関係人口創出の取組み

栃木県那須塩原市で、2026 年 9 月 25 日から 2027 年 2 月末まで、二地域居住に関する実証実験を実施します。大人の休日倶楽部会員等に移住関連の情報を提供し、オンラインでアンケートに答えていただきニーズや関心を可視化します。次に、現地体験ツアーにて、地域の暮らしや仕事、地域活動（里山保全活動他）を体験していただくとともに、先輩移住者や地域の方々との交流や生活・コミュニティに触れ、二地域居住や移住を具体的にイメージしていただきます。一連の体験による二地域居住への関心や行動意欲の変化を検証するとともに、プレシニア層が地域との継続的なつながりを築くきっかけを創出し、将来的な関係人口の拡大につなげます。

○共創メンバー：NTT ドコモソリューションズ株式会社、NTT ドコモビジネス株式会社、那須塩原市、JR 東日本栃木事業本部



現地体験ツアーは11月4・5日と11月12・13日の2回行い、各回10名程度体験予定

② JR 東日本旧秋田住吉町社宅を活用した「音漏れ apartment マーケット 2026」

秋田県秋田市で、2026 年 10 月 31 日、11 月 1 日に、旧秋田住吉町社宅 4 号棟（※ 2025 年 3 月廃止）を活用し、人々の交流を促す実証実験を実施します。旧社宅を「縦型商店街」に見立て、地域事業者の出店や学生のサークル活動等を展開します。古い集合住宅特有の「音漏れ」や「隣人の気配」を、人の活動や交流が建物全体に自然と伝わる魅力として捉え、地域住民や事業者、学生が音楽演奏、飲食・物品販売、サークル活動等を通じて気軽につながる場の創出を目指します。この取組みにより地域内で生まれた価値を地域内で循環させる「バイローカル」の考え方のもと、遊休不動産を活用した新たな交流拠点のあり方や持続的な運営モデルを検証します。さらに本モデルが、地域内だけではなく地域外の人々との交流を生み出し、関係人口の拡大や地域活性化につながることを目指します。

○共創メンバー：株式会社 Q0、株式会社ジェイアール東日本企画、JR 東日本秋田事業本部



### ③ 土浦市での地域共創

茨城県土浦市で、自治体や企業、地域事業者、高校生、土浦事業本部が連携した地域共創を推進しています。2025 年度は地域課題や魅力をテーマに対話を重ねながら、課題解決のアイデアを創出しました。2026 年度はそのアイデアをもとに、2 つの活動を実施します。



2025 年度に実施したアイデア創出

（活動 1）2026 年 10 月から 2027 年 2 月にかけて、ビジネスアイデア共創活動「土浦ひらめき商店部」を開催します。土浦の高校生が、企業や大学関係者との対話、先進事例の研究、フィールドワークを通じてビジネスアイデアを磨き、地域企業へ提案します。高校生が地域とのつながりを深め、将来の地域の担い手になることを目指します。

○共創メンバー：土浦市、ソフトバンク株式会社、JR 東日本土浦事業本部

（活動 2）土浦市の特産品であるレンコンを題材に、デジタルとリアルを融合した新たな観光体験を構築します。体験者には、レンコン畑の気象データ等と連動して成長するデジタルコンテンツと、現地での農業体験や食体験をお楽しみいただきます。この観光体験により、土浦市とのつながりを感じていただくことで、関係人口の創出を目指します。

○共創メンバー：土浦市、KDDI 株式会社、JR 東日本土浦事業本部

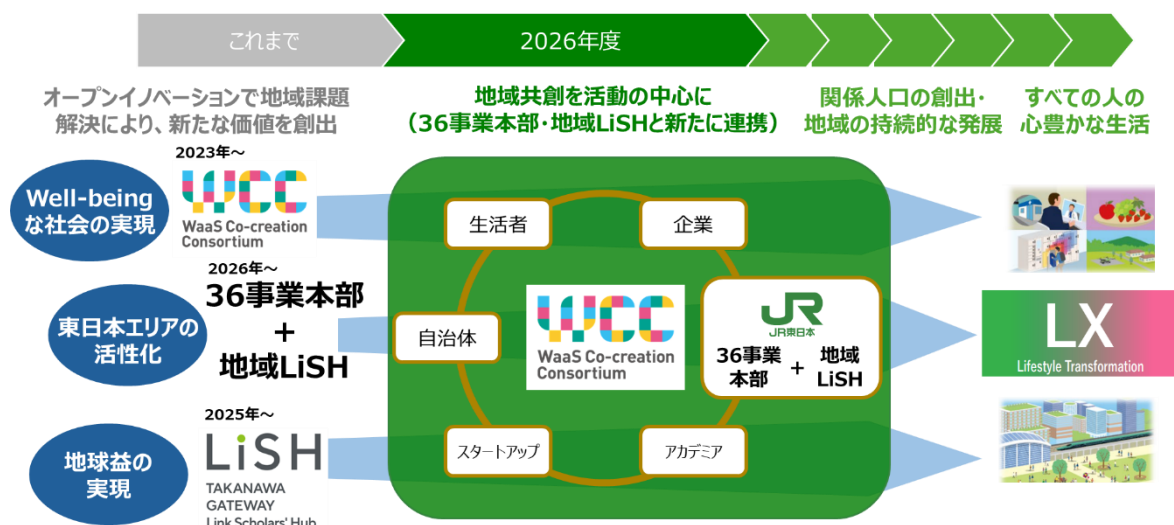
### （2）地域 LiSH との連携

秋田事業本部社員が中心となってブリッジコミュニケーターを担い、秋田県内の学生、企業、スタートアップといった多様なプレーヤーが日常的に交わる「LiSH AKITA」と連携を開始します。WCC 会員と LiSH AKITA 会員の交流を通じて、秋田エリアの活性化につながる活動を進めます。地域共創を活動の中心とする WCC と地域 LiSH の連携を強化していくことで、地域に根差した共創モデルを構築し、秋田エリアから東北エリアへの拡大を目指します。



### 3. 2026 年度以降の地域共創に関するエコシステム

#### 地域課題の解決が各地域で自律的に進むエコシステム



WCCでは、様々な実証実験の成果を地域課題や特性に応じて実装・定着させ、Well-beingの向上と、思いやりとワクワクにあふれる社会の実現を目指します。JR 東日本は今後も、多様なパートナーとの共創を通じて社会課題の解決に挑戦し、各地域における社会実装を進めることで、新たな社会価値の創造と持続可能な地域社会の実現に取り組みます。

## <参考>

1. WaaS 共創コンソーシアム  
2024 年 7 月 4 日プレスリリース  
「WaaS 共創コンソーシアムの推進について」  
[https://www.jreast.co.jp/press/2024/20240704\\_ho01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2024/20240704_ho01.pdf)
2. 野沢温泉村でのライドシェア  
(1) 2024 年 10 月 11 日プレスリリース  
「長野県野沢温泉村内でライドシェア実証実験を行います」  
[https://www.jreast.co.jp/press/2024/20241011\\_ho01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2024/20241011_ho01.pdf)  
(2) 2025 年 11 月 27 日プレスリリース  
「長野県野沢温泉村を発着地とするライドシェア実証実験を行います」  
[https://www.jreast.co.jp/press/2025/20251127\\_ho03.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2025/20251127_ho03.pdf)
3. 大人の休日倶楽部会員等を対象に関係人口創出の取組み  
2026 年 9 月 3 日プレスリリース  
「大人の休日倶楽部会員等を対象に関係人口創出のための実証実験を実施します」  
[https://www.jreast.co.jp/press/2026/20260903\\_ho02.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2026/20260903_ho02.pdf)
4. JR 東日本旧秋田住吉町社宅を活用した「音漏れ apartment マーケット 2026」  
2026 年 10 月 1 日プレスリリース  
『JR 東日本旧秋田住吉町社宅 4 号棟を活用した「音漏れ apartment マーケット 2026」を実施します』  
[https://www.jreast.co.jp/press/2026/20261001\\_ho01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2026/20261001_ho01.pdf)
5. LiSH AKITA  
2026 年 2 月 12 日プレスリリース  
『ビジネス創造施設「LiSH」の地域拠点第一弾「LiSH AKITA」を 2026 年 3 月 28 日（土）に開設します』  
[https://www.jreast.co.jp/press/2025/akita/20260212\\_a01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2025/akita/20260212_a01.pdf)
6. LiSH  
2024 年 9 月 12 日プレスリリース  
『「GATEWAY Tech TAKANAWA」・「LiSH」の参画メンバーを募集します  
～TAKANAWA GATEWAY CITY を拠点とした広域スタートアップエコシステムの活動開始～』  
[https://www.jreast.co.jp/press/2024/20240912\\_ho03.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2024/20240912_ho03.pdf)